

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は、食に関わる仕事に就きたいと思っていました。同志社女子大学は、食品学のことを詳しく学ぶことができ、学んだことを実習で生かす機会があること、また、オープンキャンパスで明るい雰囲気伝わってきて、大学を知るきっかけとなり、受験することを決めました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

部活を引退し、勉強する時間が増えたので、今までの模試や定期考査で点数があまり取れていなかった単元を中心に基礎から復習していきました。得意でない科目を後回しにせず、勉強するようにしていました。何が分からないのかを明確にし、放置しないで、まず教科書を読み返したり、友達や先生に質問したりしました。

〔夏休み〕

これまで学習したことが理解出来ているかどうか確認するために苦手科目 苦手分野に重点を置いて問題集をやりました。覚えることが得意ではなかったので、解いたことがある問題を繰り返し解いたり、間違えたところをまとめたノートを作って、そのノートを時間がある時に読み返したりしていました。そうすることで、自然と苦手分野が減っていきました。

〔2学期～入試直前〕

数学、理科、英語の記述力をつけるための問題集をやりました。分からない問題があった時、すぐに解答を見るのではなく、少し考えるように心がけました。自分で解決できなかった時には、友達や先生に質問をし、理解できるまで教えてもらいました。また、友達の質問に答えることもより理解が深まるので大切なことだと思います。また、受験を考えている大学の過去問を解きました。大学によって頻出分野や傾向などが変わってくるので、早めに過去問を解き、対策をするようにしていきました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

長時間、勉強をするのは疲れてしまうため、休憩をするようにしていました。休憩が長びかないように時間を決めておきました。高校の行事などの時は、受験のことを忘れて、楽しむようにしていました。健康面では、受験が近づくにつれ、やるが増え、焦る気持ちもありましたが、夜更かしをせず、きちんと睡眠をとるように心がけました。テレビやスマートフォンを使用する時は、時間を決めて使用していました。悩みがある時には、遠慮せずに、友達、先輩、先生、家族に話すようにしていました。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

辛くて投げ出してしまうこともたくさんあると思いますが、自分の行きたい大学を早い段階から決め、コツコツと努力し続けることが大切です。こんなに一生懸命勉強するのは今だけだと思います。受験はあつという間にやって来ってしまうので後悔しない受験生活を送ってください。応援しています。